

ボランティア通信

2012年7月20日発行
(第1号)
ボランティアコーディネーター
吉田・牛山

<特集> 放課後活動＝「ホウカツ」!

今年も5月から始まった「ホウカツ」。学級活動の後から、家に帰るまでの数時間を、1年生から6年生まで「遊び」や「学習」を通して、元気に過ごしています。

◆「ホウカツ」命名秘話

放課後活動が始まって少し経った頃、「名前をつけよう」という声が、子どもたちからありました。全校アンケートなどを通して、放課後の時間に、子ども同士のミニ会議をやることになりました。当日の呼びかけには、1年から6年生まで、40

人もの児童が集まりました。

集まりました。(実は今日も遊ぶ日だ

と思っていた児童が殆どでしたが...)

即席で班を作り、まず班会議、そして

全体会議。「ふれあい」「ニコニコ広場」

「自由広場」などなど、たくさん候補

が出されましたが、約一時間半を

かけて、一生懸命、真剣に、時を

過ごして決めたのが、「ホウカツ」という

ネーミング。あの頃は「こくせん」という

TVドラマが人気だったり、なにかと

短縮して呼ぶのが流行っていたよう

な気がします。

あの頃に真剣に名前を考えて

くれた中心世代の児童たちは、今

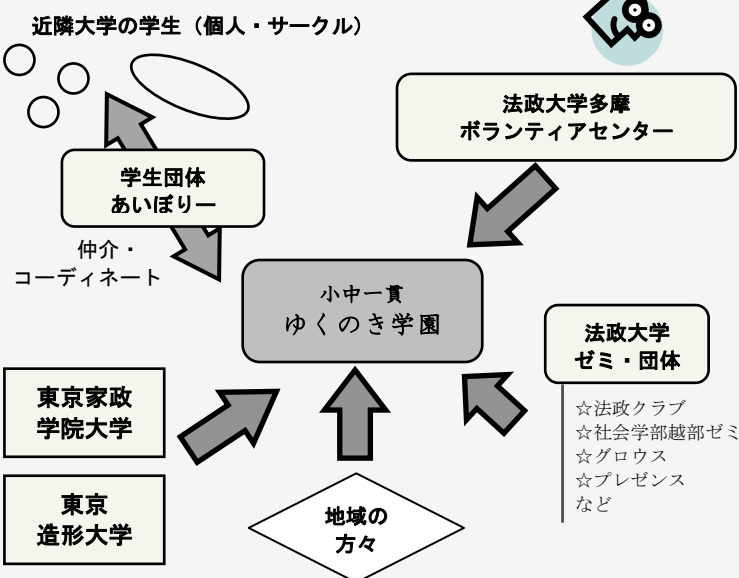
ではゆくのき学園の7・8・9年生になりました。

① ホウカツの一週間

月	水	金
学習ホウカツ (宿題・補習)	遊びホウカツ (自由遊び・工作 スポーツ等)	学習ホウカツ (宿題・補習)



②ホウカツボランティア関係図



団体紹介コーナー

「あいぼりー」
法政大学の学生・OBを中心に運営されている団体で、相原における学生の地域活動のコーディネートを行っています。ゆくのき学園ホウカツにおいては、各ホウカツの参加学生集めや学生への連絡、他の学生団体との連携イベントの企画など、学生ボランティアの運営全般で参加・協力をお願いしています。

【活動報告】

2012年度1学期(5月～7月)
・ホウカツの開催回数(遊び・学習)

計 22回

・参加した学生延べ人数

計 112名

・地域ボランティアの参加人数

計 45名

たくさんのご参加、ありがとうございました!

【お知らせ】

・9月のホウカツは熱中症対策のため、校内で計測しているデータに従って、当日にお休みとする事があります。あらかじめご了承下さい。

編集後記

・この通信では、ゆくのき学園でのボランティアの方々や、事例を紹介していきます。楽しい紙面を作りたいと思いますので、よろしくお願いします。(コーディネーター・吉田)

・今回は学生ボランティアとして紙面作成を手伝いました。こんなところでも学生が必死に頑張っています!(あいぼりー・五藤)

ゲームが始まると、
容赦なし。
学生もタジタジ!



↑まずはルール説明。
『ちゃんと聞いてね!』



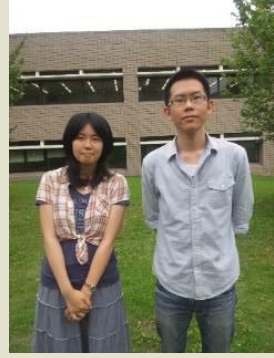
学生ボランティア企画 ドッジボール大会!

普段は自由遊びを行っている水曜日のおそびホウカツですが、6月20日は特別に、継続してボランティアに参加している法政大学の学生の企画・準備により、体育館で、ドッジボール大会を行いました。

当日は、児童の児童も参加して、にぎやかな一日となりました。

INTERVIEW

法政大学 学生ボランティア のお二人



(左)相川慶太さん/あいぼりー
(右)原田真帆子さん
/ボランティアセンター学生スタッフ

Q1. ゆくのきでどんな活動をしているんですか?
相川「毎週参加するだけでなく、新しい学生の参加推進も行っています」
原田「子どものため、ということももちろんですが、自分自身の成長のために色々チャレンジしています」

Q2. 活動のモチベーションは?
原田「小学生が明るく迎えてくれること。」
相川「週1回の癒しです。」

Q3. 今後の抱負は?
相川「ホウカツにかかわる学生をもっと増やしていきたいです」
原田「もっと子どもと大学生の交流を深めていきたいです」

ゆくのき地域交流 #1



ここ数年、学校行事の時期になると現れるこの愉快な仲間たち。これは、地域ボランティアのAさんの作品です。

Aさんは毎年、「どう飾りつけると見栄えがよいのか?」「どうしたら、子どもたちに喜んでもらえるのか?」そんなこだわりを持ちながら、毎年取り組んでくださっています。

Aさんの構想をもとに、昔PTAに関わっていた方や、お孫さんがゆくのきに通っている方、子どもが高校生になり、ちよつと手のあいた方。たまたまボランティア室を覗いて、コーディネーターにさらわれた方(〜)まで、制作にはさまざまな方が参加して下さいました。

